

平成 20 年度 大学院教育改革支援プログラム

# 島嶼看護の高度実践指導者の育成

— 島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育 —



沖縄県立看護大学大学院

## プログラムの目的と特徴

1. 島嶼看護の高度な実践・実践的教育研究指導ができる看護指導者の育成
2. 住民の生活文化に根ざした看護を実現できる高度な島嶼看護専門能力の育成
3. 宮古島を拠点にした島嶼看護学の現地での教育研究指導

## 自主的・恒常的な展開方略

大学教員の指導力向上・現地指導教員の確保・国際的学術交流の確立

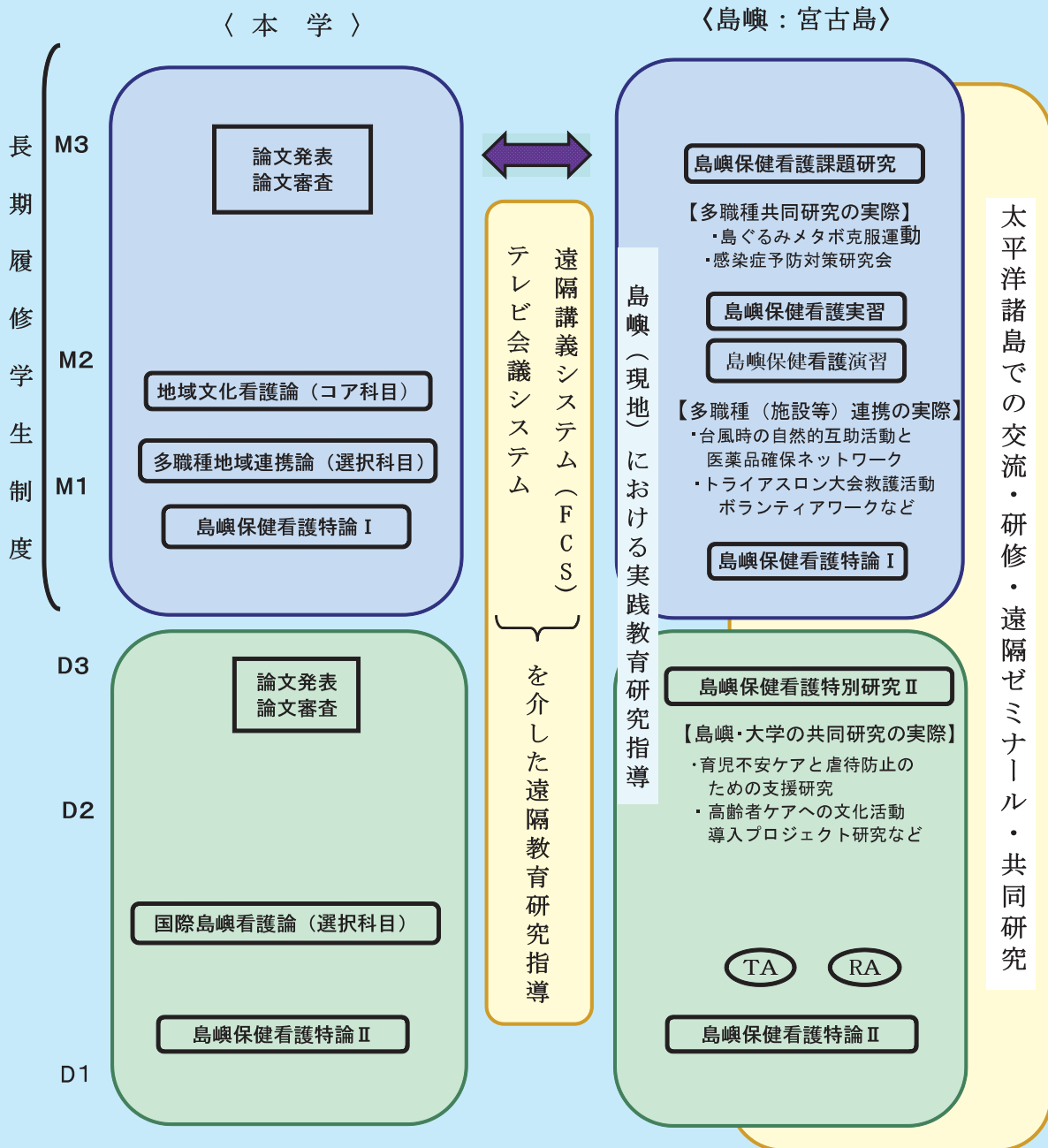


- ・特任教授の配置
- ・臨床教授の配置
- ・海外研修の強化
- ・島嶼の教育環境の強化

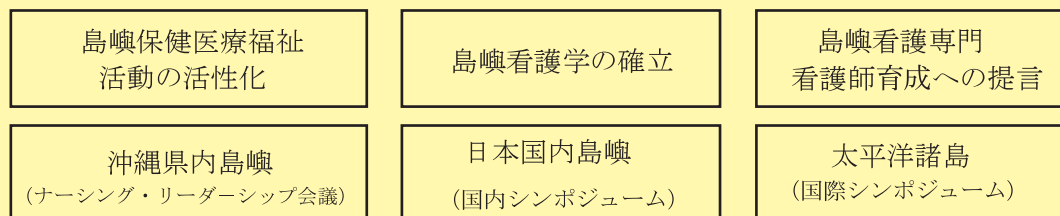


- ・島嶼看護学領域の常設化と入学定員の増員
- ・島嶼看護学の高度実践指導者育成の継続と拡大
- ・アジア太平洋地域との交流継続

# 島嶼現地指導と遠隔指導の融合型教育



## 島嶼看護の高度実践指導者の育成



※ □内は科目名、Mは前期課程（修士）、Dは後期課程（博士）で、数字は年次を示す

## 期待される成果

- ・ 島嶼看護の高度実践指導者が育成される
- ・ 離島地区での保健医療福祉看護が活性化される
- ・ 島嶼看護学が確立される

## 終了後に期待される人材像

- ・ 博士前期課程：島嶼における実践教育指導を担う保健医療福祉・看護分野の責任者及びケアコーディネーター、現地指導者、共同研究者としての人材
- ・ 博士後期課程：島嶼保健看護学の教育研究指導にあたる大学教員、臨床指導教授などの役割が担える人材

